

## みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

## 人になれ 奉仕せよ

聖句： 神は愛です。（ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節） 今月の聖書のみことばです。年長組は暗唱します。

保育目標：	0歳児	・心地よい環境の中で安心して過ごす。
	1歳児	・安心して保育者と一緒に遊ぶ。
	2歳児	・先生や友だちと好きな遊びを見つける。
	3歳児	・喜んで登園し、好きな場所や友だちを見つける。
	4歳児	・安心して過ごし、自分のやりたいことを見つけて遊ぶ。
	5歳児	・進級したことを喜び、友だちと遊びを楽しむ。

ご進級、ご入園おめでとうございます。

今年は3月になり寒さが戻ってきたために桜の開花も遅れ、久しぶりに4月に桜が満開になりました。園のエントランスには色とりどりの花々が春の訪れを喜ぶように咲いています。子どもたちが植えたチューリップの花も咲く時期を今か今かと待っていました。自然の不思議さを改めて感じ、神さまに感謝いたします。

さあ、2024年度のスタートです。4月は、新しい出会いの季節ですね。六浦こども園に招かれた新入園の皆さまお一人お一人を心から歓迎いたします。また1つ大きくなって進級した皆さまと今年度も一緒に園生活を過ごせることは喜びと感謝でいっぱいです。今年はどうな生活が紡がれるのでしょうか。楽しみですね。

4月は園がにぎやかです。1日は『六浦こども園集いの日』でした。乳児クラスやにじ組（長時間保育利用）の子どもたちは、この日からこども園で生活を始めています。入園してきた子どもたちも慣れ保育を行い、少しずつ園生活を受け入れています。『この先生はどんな人？』『ここではどんなことして遊ぶの？』『これは使ってもいいのかな？』など…一人ひとり違う試し方で園生活を探索しているのですね。乳児クラスでは子どもたちの泣き声の大合唱が響いていましたが、そのトーンも少しずつ変わってきています。自分のそばにある物に手を伸ばしそばにいる人と触れ合うことで安心スペースを広げているようです。にじ組の子どもたちも周りの人の動きを見て真似をして遊んでいたりと先生のそばにいて少しずつ自分の好きなものを見つけられたり…と、やはり安心スペースを広げているようです。

1号認定で入園してくる子どもたちも同じように自分のペースで様々な試しをしながら、安心スペースを広げていくことでしょう。急ぐことはありません。一人ひとりが必要な時間を費やして安心していけるように私たちはそばにいて支えます。

園生活を探索しているのは、新入園の子どもたちばかりではありません。実は、進級した子どもたちも試しています。今までとは違う園の雰囲気を感じ『大丈夫かな?!』『これでいいのかな?!』と心配になる事もあるのでしょうか。私たちは、それをキャッチしてその子の心配に寄り添うことやその不安を少しでも安心に変わるように願いながら子どもたちと生活していきます。子どもたちが少し大きくなっている自分を感じて一歩前に踏み出せる機会を作っていきたいと思います。

安心すると子どもたちはどんどん自分を発揮し興味関心のあることを見つけていくでしょう。周りの人や物や事柄に触れていき、自分の世界を広げていきます。小さくてもささやかでも一つひとつの経験が育ちのエネルギーなのです。私たちは子どもたちと一緒にたくさん喜怒哀楽を味わい、心を動かすことや考えていくことを大切に歩いてまいります。

この時期は特にご家庭のご協力が欠かせません。何故なら、子どもたちにとって『園に行く』ことは大きなお仕事だからです。『どんなことがあるのか不安や心配な想い』を楽しみに変えていくには大人の助けが必要です。園は『無理やり行かせるところ』『行かなくてはならないところ』ではありません。子どもたちが『行ってみたい所』『行きたい所』になっていくように私たちは環境を考えながら整えていきたいと思っています。必要なことはご家庭に必ずお伝えしますので、ご家庭で気になることがありましたら私たちにも教えてください。お子さんを真ん中に園と家庭が協力してお子さんの育ちを支えていきたいと願っております。

これからの日々が神さまに守られ導かれていきますようにと心から願い祈ります。

園長 鈴木 直江